

令和8年2月26日

保護者様

合志市立合志楓の森小学校
校長 佐藤 政臣

熊本県学力・学習状況調査結果の返却について

残寒の候、保護者の皆様におかれましてはご清栄のことと思います。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力いただきありがとうございます。

さて、令和7年12月5日に実施いたしました「熊本県学力・学習状況調査」の結果について本日、お子様を通じて保護者の皆様にお渡しします。学校でも、今回の結果を十分に分析し、今後の学習指導にいかしていきたいと思っております。ご家庭でもご確認いただき、子どもたちを励ましていただければと思います。

1 本校の状況について

合志市及び熊本県の標準スコアとの比較は、以下のとおりです。

学年	合志市及び熊本県の標準スコアとの比較
3年	○国語は、合志市より「+3.6」、熊本県より「+4.1」ポイント、標準スコアを上回った。 ○算数も、合志市より「+3.8」、熊本県より「+4.8」ポイント、標準スコアを上回った。 ○学習状況調査(i-check)においては、18項目中、17項目で全国平均を上回った。特に「学級の絆」、「生活習慣」、「学級の規範意識」、「対話・話し合い」の項目が高かった。
4年	○国語は、合志市より「+2.4」、熊本県より「+2.6」ポイント、標準スコアを上回った。 ○算数も、合志市より「+2.6」、熊本県より「+2.4」ポイント、標準スコアを上回った。 ○学習状況調査(i-check)においては、18項目すべて全国平均を上回った。特に「学級の規範意識」、「学習習慣」、「成功体験と自信」、「他者からの評価」の項目が高かった。
5年	○国語は、合志市より「+2.0」、熊本県より「+0.9」ポイント、標準スコアを上回った。 ○算数は、合志市より「+2.3」、熊本県より「+0.4」ポイント、標準スコアを下回った。 ○学習状況調査(i-check)においては、19項目中、18項目で全国平均を上回った。特に「学習習慣」、「学級の絆」、「学級の規範意識」、「成功体験と自信」の項目が高かった。
6年	○国語は、合志市より「+1.3」、熊本県より「+1.7」ポイント、標準スコアを上回った。 ○算数も、合志市より「+2.5」、熊本県より「+2.5」ポイント、標準スコアを上回った。 ○学習状況調査(i-check)においては、19項目すべて全国平均を上回った。特に「学級の規範意識」、「生活習慣」、「学級の絆」、「先生の支え」の項目が高かった。

2 今後の対策について

- ・職員全体で結果を分析し、それぞれの学年の課題を明らかにして対策を考える。
- ・新しい児童用タブレットなどを活用し、児童一人一人の苦手とする分野について取り組む。
- ・学年で家庭学習を統一し、学年で落ち込んでいる分野については集中的に取り組む。
- ・国語、算数の時間を活用して、1年間で学習したことを復習する時間を設ける。
- ・学年の中で学級ごとの学習習慣の違いがないようにし、教科担任制の推進やローテーション授業の実施などで学級間の差がでないようにする。
- ・学習状況調査から、これまで低かった「自分にはいいところがあると思いますか」という自己肯定感に関する項目の肯定率が全国値を大きく上回った。引き続き、学校教育全般で自己肯定感の向上を図る教育活動を推進する。

3 個人票の見方について

- ・学力調査個人票の見方は、お配りした個人票の裏に掲載してありますので参考にされて下さい。
- ・今回の結果は1つの参考であり、お子様の学力のすべてを表すものではありません。